

道程

松本一郎著作集

著者のライフワークである二・二六事件
及び軍の法規に関する主要な論考を収録

「伊達裁判長の思い出」「砂川事件余話」「幼年学校の
教育」「古沢先生という人」「愚直の人」など貴重な
エピソードを綴った珠玉のエッセイも合わせて所収！



緑蔭書房

陸軍大臣官房編纂による日本陸軍の根幹資料

「陸軍成規類聚」資料集成

森松俊夫監修／松本一郎編・解説

全4集完結

陸軍成規類聚 昭和版

〈第1集〉本書は陸軍のあらゆる活動の基準
となった根拠文書であり、巨大組織「日本陸
軍」の〈制度・組織・機構・教育等〉を研究
する上で不可欠な史料。底本は陸軍大臣官房
図書閲覧室所蔵版で、戦後には「法制改廃委
員会」が使用した「昭和十九年八月第三六版」。

全7巻・別巻1／揃180000円



陸軍成規類聚 別冊

——軍事秘密——

〈第2集〉「成規類聚」で公開できない軍令・
通達などを収録。底本は偕行社所蔵版（最終
追録一九年十一月）。 全1巻／28000円

陸軍成規類聚 明治版

〈第3集〉日露戦争後の陸軍軍制を知る上で
必須の史料。底本は靖国偕行文庫所蔵版（明
治四四年二月第六版）。 全3巻／揃60000円

「陸軍成規類聚」研究資料

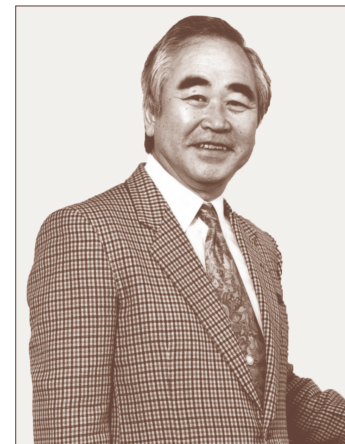
〈第4集〉本書は「成規類聚」の概説書とし
て①「陸軍軍制史梗概」（山崎正男）、②「山
崎正男氏対談記」、③「陸軍軍制史話」（原題
「軍制よもやま話」）を収録。 全1巻／18000円

道程

——松本一郎著作集

定価——本体32000円＋税

四六判・400頁・上製・カバー装
ISBN978-4-89774-330-1



著者紹介

獨協大学名誉教授（法学）。
昭和五年（一九三〇年）福岡県生まれ。
中央大学法学部卒。東京地方裁判所判事補、弁護士、獨協大学法学部
教授等を経る。
主な編著書に『夢幻のごとき——野田謙吾中将と昭和期の陸軍』『回想
昭和時代——元陸軍幼年学校生徒の座談集』『二・二六事件裁判の研究』
『二・二六事件裁判原本資料』『陸軍成規類聚』資料集成『陸軍軍法
会議判例集』

緑蔭書房 〒173-0004 東京都板橋区板橋 1-13-1 ☎03(3579)5444（価格は税別）

目次

はしがき

I

- 1 生い立ちの記
- 2 恩師の痛棒
- 3 古沢先生という人
- 4 伊達裁判長の思い出
- 5 砂川事件余話
- 6 愚直の人
- 7 鬼官兵衛の最期
- 8 生と死と
- 9 浄めと靈魂
- 10 幼年学校の教育
- 11 父と馬と私
- 12 暗かった夏
- 13 一期一会
- 14 夢は異なもの
- 15 やがて悲しき



伊達秋雄裁判長



砂川事件

II

- 1 魔王と呼ばれた男
—軍法会議における北一輝と西田税—
- 2 死を我等に
—軍法会議における北一輝と西田税—
- 3 西田税暗殺未遂事件
- 4 安藤大尉の生と死
- 5 磯部と真崎の対決
- 6 真崎大将の人間像
—「真崎日記」と裁判記録を通して—
- 7 池田俊彦氏を偲ぶ
- 8 「いそべの杜」を訪ねる

III

- 1 『二・二六事件裁判原本資料』解説
 - 2 『陸軍成規類聚』研究資料』解説
 - 3 『陸軍成規類聚』昭和版』解説
 - 4 『陸軍成規類聚』別冊』解説
 - 5 『陸軍成規類聚』明治版』解説
 - 6 『陸軍軍法会議判例集』解説
- 松本一郎年譜

はしがき

この世に生れ出てから、八三年が経った。ありがたいことに、まだ生き延びている。思えば、遙かなる道のりであった。今は亡き父母、弟妹、旧友たちの顔が、次々と現れてはまた消えていく。間もなく私も、その仲間に入る。いのちの、何とばかりか、何とばかりか。

本書のタイトルは、私の尊敬する詩人高村光太郎の詩「道程」から拝借した。僕の前に道はない。僕の後ろに道は出来る。

しかし、私の足取りは、光太郎のように毅然としたものではない。ビートルズの歌った「長く、曲りくねった道」をさまよい歩いて、ようやくここまで来ただけのことである。ただ、私のやりたいこと、私にできることはすべてやり終えたので、もはや思い残すことはない。

そこで、これまでに綴った由なしごとをまとめて、本書とした。第一部はエッセイ一般、第二部は二・二六事件関係論考、そして第三部は、私の編纂に係る法規集・判例集等に付記した解説文である。なお、「魔王と呼ばれた男」「西田税暗殺未遂事件」「安藤大尉の生と死」は、拙書『二・二六事件裁判の研究』（一九九九年・緑蔭書房）に収録している。エッセイの多くは、「熊本陸軍幼年学校第四期訓育班便り」として、私が編集・発行した『野武士』に掲載したものである。ただ、「古沢先生という人」「砂川事件余話」は、今回新たに書き下ろした。前者の執筆に当たっては、古沢先生の長女淑子さん（現姓石橋）から種々ご教示に預かった。『野武士』の編集は、苦勞もあったが、私の楽しみでもあった。二〇〇〇年（平成十二年）十一月に創刊し、二〇一一年（平成二十三年）二月の第二九号をもって最終号とした。その全号は、国会図書館と靖国偕行文庫で見ることができる。

▼事件の全体像を把握する上で不可欠な第一級一次史料である
『判決書綴』訴訟記録目録の原本を公刊する！

▼本書の内容と刊行の意義

▼今回刊行する「判決書綴」訴訟記録目録は、東京地方検察庁が保管する「原本」の「コピー版」である。

▼訴訟記録目録は、今回初めて公刊する資料である。

▼訴訟記録目録は、二・二六事件訴訟記録原本（主六巻及び別冊）の内、五三巻までの各記録目録を収録した（五四巻以降は不起訴処分者の記録）

松本一郎編

二・二六事件裁判原本資料 全2巻

二・二六事件判決書綴 二・二六事件訴訟記録目録

東京陸軍軍法会議



体裁 一頁四面付・B5判・上製クロス装
定価 本体6000円＋税（税別）
ISBN978-4-89774-317-2 C3331

陸軍軍法会議 判例集 全四巻

▼知られざる軍法会議の実態！
今回、初めて軍法会議の裁判記録（判決書）を関連資料と併せて刊行する！

松本一郎編 解説（編協大学名誉教授）

▼現代の日本では、軍法会議といえは、憲兵制度とともに、戦前の旧陸海軍における非人道的な統治システムとしてのイメージが想起され、また戦後は、軍法会議が存在しないという事情と、当時の裁判資料の欠如により今日までその実態は知られてない。▼今回の新発掘した裁判記録が軍法会議の本格的研究の端緒となることを期待したい。

—本資料集の構成—

- 1 陸軍軍法会議判決録 第一巻 松島邦夫編
 - 2 陸軍軍法会議判決録 第二巻 松島邦夫編
 - 3 陸軍高等軍法会議判例集 憲警研究学会編
 - 4 陸軍高等軍法会議判決要録 陸軍高等軍法会議編
- ◆参考資料（各巻に収録）
陸軍刑法、陸軍軍法会議法
陸軍軍法会議問答録法規
陸軍刑法部長合同決議案
軍法会議法研究 近衛師範軍法会議
陸軍軍法会議廃止に関する願末書 復員局